

# 事務事業実績測定調査

10315060010	奨学金事業(補)		
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	54.ひきこもりや若年無業者(ニート)の社会的自立に向けた支援を行うとともに、子どもの貧困対策を推進するなど、子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1964(S39)年度		～		
根拠法令等	枚方市奨学金条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	支援によって、市内の中学生が、経済的理由のため高等学校等への進学を断念することが無い状態				
事業概要	<p>経済的な理由のため学校教育法に規定される高等学校等に修学が困難な者に奨学金を支給することにより、教育の機会均等を図ることを目的として、次の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月に各中学校に申請書配布。又、広報ひらかたに掲載し市民に周知。6月1日～30日まで申請受付。</li> <li>・新規申請者が奨学生として認定されると、次年度からは4月中に在学証明書等の必要書類提出後、継続認定者となる。</li> <li>・新規申請者から在学証明書等の必要書類受理後、当該年度の予算の範囲内で課税標準額の低い順に認定する。</li> <li>・大阪府が実施する「奨学のための給付金」対象者である、生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯又は市町村民税所得割非課税世帯の生徒は対象外。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	認定率 (認定者/卒業予定者×100)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	2	2	2		
実績	2					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.52	0.51	0.72
正職員数	0.07	0.06	0.04
非正規職員数(計)	0.45	0.45	0.68
再任用職員数	0.45	0.45	0.45
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.23
■人件費総額(千円)	2,551	2,692	3,091
正職員人件費(換算額)	551	477	321
非正規職員人件費(計)	2,000	2,215	2,770
再任用職員人件費(換算額)	2,000	2,215	2,294
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	476
■直接経費(千円)	22,403	18,768	16,257
■事務事業の総計(千円)	24,954	21,460	19,348
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	24,954	21,460	19,348

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	4月中に必要書類を提出した奨学生は、継続して奨学金を支給。6月1日～6月30日に新規奨学生の願書を受付し、8月に新規奨学生を決定。支給は9月と3月。153人の申請者に対し、82人を認定した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	国や府の施策の動向を踏まえながら、制度のあり方について検討を行っていく。	

# 事務事業実績測定調査

10316010006	交通災害遺児奨学金事業(補)		
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育部教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	56.義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1970(S45)年度		～		
根拠法令等	枚方市交通災害遺児奨学金条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	交通事故により保護者を失った交通災害遺児に対し奨学金を給付することにより、交通災害遺児の健やかな育成と福祉の増進を図れた状態。				
事業概要	<p>交通事故により保護者を失った交通災害遺児に対し奨学金を給付することにより、交通災害遺児の健やかな育成と福祉の増進を図ることを目的として、次の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に各小中学校に申請書を配付する。</li> <li>・交通災害で保護者を失った児童生徒から申請書を学校を通じて提出してもらう。</li> <li>・申請書を審査後、認定者を決定し月額5,000円を9月と3月に支給する。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	1人あたりの奨学金支給額 【決算額/支給者数】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	円
目標(予測)	—	60,000	60,000	60,000		
実績	60,000					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.13	0.13	0.12
正職員数	0.03	0.03	0.02
非正規職員数(計)	0.10	0.10	0.10
再任用職員数	0.10	0.10	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	680	731	670
正職員人件費(換算額)	236	239	160
非正規職員人件費(計)	444	492	510
再任用職員人件費(換算額)	444	492	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	840	850	780
■事務事業の総計(千円)	1,520	1,581	1,450
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,520	1,581	1,450

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	学校を通じて提出された申請書を審査し、認定者を決定。9月と3月に支給。令和元年度は13人給付した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も交通災害遺児の健やかな育成と福祉の増進を図るために、引き続いて実施する。 ただし、必要性及び制度のあり方(交通事故のみとしていること)等について検討を行っていく。	

# 事務事業実績測定調査

10316010007	就学援助費事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	56.義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1957(S32)年度		～		
根拠法令等	学校教育法第19条、枚方市就学援助規則、支援学級等就学奨励費支給規則、枚方市中学校夜間学級就学援助要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資する。				
事業概要	<p>経済的理由によって就学が困難な児童・生徒及び就学予定者への必要な援助を行うため、保護者に就学援助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>枚方市立小中学校に在籍している全児童・生徒に対して4月の入学式及び始業式時に申請書を配付。新小学1年生及び中学1年生には就学通知書に制度の概要を掲載。次年度に小学校入学予定者の保護者に対し、小学校入学準備金の案内及び申請書を就学時健康診断の案内に同封。</li> <li>心身に障害のある児童・生徒の就学の奨励を図るため、保護者に就学奨励費(通級費を含む)を支給する。</li> <li>支援学級等就学奨励費は、枚方市立小中学校の支援学級(通級者を含む)在籍児童・生徒の保護者に対して6月に申請書配付。支給額は就学援助の概ね2分の1相当額。支援学級等就学奨励費は事業対象経費の2分の1内の国庫補助あり。</li> <li>義務教育を終了できなかった者に学習の機会の確保を図るため、夜間学級就学援助を支給する。</li> <li>中学校夜間学級就学援助は、枚方市に居住する中学校夜間学級在籍者に対して4月に申請書を配付。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	市内在籍全児童・生徒に対する認定率					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	22	22	22		
実績	19					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.59	1.59	1.60
正職員数	1.18	1.17	1.15
非正規職員数(計)	0.41	0.42	0.45
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.41	0.42	0.45
■人件費総額(千円)	10,028	10,141	10,065
正職員人件費(換算額)	9,291	9,303	9,220
非正規職員人件費(計)	737	838	845
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	737	838	845
■直接経費(千円)	512,766	470,679	459,897
■事務事業の総計(千円)	522,794	480,820	469,962
国庫支出金	9,416	11,583	12,287
府支出金	874	730	792
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	512,504	468,507	456,883

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>就学援助は、枚方市立小中学校に在籍している全児童・生徒に対して4月の入学式及び始業式時に申請書を配付。新小学1年生及び中学1年生には就学通知書に制度の概要を掲載。次年度に小学校入学予定者の保護者に対し、小学校入学準備金の案内及び申請書を就学時健康診断の案内に同封。支援学級等就学奨励費は、枚方市立小中学校の支援学級(通級者を含む)在籍又は学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童・生徒の保護者に対して6月に申請書配付。中学校夜間学級就学援助は、枚方市に居住する中学校夜間学級在籍者に対して4月に申請書配付。</p> <p>就学援助は令和元年度は、5,870人認定(小学校入学準備金は除く。)。小学校入学準備金は596人認定。支援学級等就学奨励費は1,067人認定。中学校夜間学級就学援助は3人認定。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も、経済的理由によって就学が困難な児童・生徒及び就学予定者の保護者に対して必要な援助を行う。心身に障害のある児童・生徒の保護者に就学奨励費を支給し、就学の奨励を図っていく。	

# 事務事業実績測定調査

10316010008	就学事務		
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育部教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	56.義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	日本国憲法第26条第2項、教育基本法第5条第3項、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	小学校及び中学校等への学齢児童・生徒の就学が保障され、適正な就学が実現された状態				
事業概要	<p>小学校及び中学校等への学齢児童・生徒に義務教育を保障し、円滑かつ適正な義務教育の実施に資することを目的として、児童・生徒の就学を保障し、適正就学に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年(2019年)5月1日の在籍児童・生徒・・・小学生21,105人、中学生 10,154人 計 31,259人</li> <li>就学通知の送付時期:小学校新1年生は1月中旬に郵送、中学校は11月中旬に郵送。</li> <li>次年度枚方市立中学校入学予定者の通学区域制度の弾力的運用に係る受付時期:相談(10月)、申出(12月)</li> <li>教科書関係書類の大阪府への送付時期:現年度前期用(4月)、次年度需要数(8月)、現年度前期転学用・後期用(9月)、現年度後期転学用(3月)</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	小学校への就学率(就学児童数÷就学対象児童数)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	100	100	100		
実績	100					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.44	2.33	2.42
正職員数	1.77	1.75	1.67
非正規職員数(計)	0.67	0.58	0.75
再任用職員数	0.10	0.10	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.57	0.48	0.65
■人件費総額(千円)	15,429	15,316	15,140
正職員人件費(換算額)	13,937	13,914	13,388
非正規職員人件費(計)	1,492	1,402	1,752
再任用職員人件費(換算額)	444	492	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	1,048	910	1,242
■直接経費(千円)	2,065	1,793	2,161
■事務事業の総計(千円)	17,494	17,109	17,301
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	17,494	17,109	17,301

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>令和元年度は、11月に中学校就学通知書を3,412通発送し、1月に小学校就学通知書を3,291通発送した。 令和元年度中の指定校変更・区域外就学許可件数は、363件。 令和2年度枚方市立中学校入学者のうち、通学区域制度の弾力的運用による指定校変更者数は 87人。 教科書関係書類を大阪府へ、現年度前期用(4月18日)、次年度需要数(8月7日)、現年度前期転学用・後期用(9月11日)、現年度後期転学用(3月2日)にそれぞれ送付した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	現状を維持しつつ、可能な範囲で事務の効率化を図る。	

# 事務事業実績測定調書

10316030002	帰国児童等に対する教育指導員派遣事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000200	学校教育部教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	生徒指導充実事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1987 (S62) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日本語の理解が困難な帰国・渡日児童・生徒すべてが学校生活を快適に過ごし、学校と児童・生徒及び保護者との間で意思疎通が図れている状態。				
事業概要	帰国渡日1年目の対象児童・生徒に教育指導員を週2回、2年目は週1回派遣している。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	対象児童・生徒が学校生活を快適に過ごせていると感じている割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	100	100	100		
実績	100					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.11	0.07
正職員数	0.10	0.11	0.07
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	875	561
正職員人件費(換算額)	787	875	561
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	3,625	3,820	5,575
■事務事業の総計(千円)	4,412	4,695	6,136
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,412	4,695	6,136

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語指導の必要な帰国・渡日外国人児童・生徒36名を対象に教育指導員を週1回2時間、もしくは週2回4時間派遣した。</li> <li>・対象言語 中国語、タガログ語、シンハラ語、ポルトガル語、モンゴル語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、ウルドゥー語、広東語、ドイツ語、スペイン語の11言語。</li> <li>・令和元年度の対象児童・生徒は36人。</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰国・渡日外国人児童・生徒の学校生活等への適応促進のため、今後も継続して実施する。</li> <li>・新しい言語の教育指導員派遣が必要になった場合の人員確保が課題となる。</li> </ul>	

# 事務事業実績測定調査

10316030003	人権教育推進事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	生徒指導充実事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1973 (S48) 年度		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	人権教育の充実と教職員の人権意識の一層の向上が図られている状態。				
事業概要	<p>学校園が教育活動において人権教育を適切に位置づけ、校長を中心とした組織的な指導に努め、市立学校園における人権教育の推進を図るため、枚方市人権教育研究協議会を通して研究事業(講演会、実践報告会、学習会、研究大会等)を実施している。</p>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	<p>各種研修を通じて、人権教育担当教職員の「人権意識が向上した」と感じている割合                  【算出式:「人権意識が向上した」と感じている人権教育担当教職員/人権教育担当教職員 × 100】</p>					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	100	100	100		
実績	100					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.10	0.07
正職員数	0.10	0.10	0.07
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	795	561
正職員人件費(換算額)	787	795	561
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,324	1,551	1,536
■事務事業の総計(千円)	2,111	2,346	2,097
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,111	2,346	2,097

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>本市立学校園における人権教育について、講演会や実践報告会、研究大会等、様々な研究を通して推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践報告会(年2回)</li> <li>・北河内地区人権教育研究学習会及び研究大会(5回。うち1回は新型コロナウイルス感染症対策のため中止)</li> <li>・大阪府人権教育研究協議会集団づくりフォーラム(7月)</li> <li>・大阪府人権教育夏季研究大会(8月)</li> <li>・枚方市人権教育研究協議会講演会(10月)</li> <li>・大阪府人権教育研究泉南大会(10月)</li> <li>・全国人権・同和教育研究大会(11月)</li> <li>・大阪府人権教育・人権・部落問題学習研究集会(1月)</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	本市小中学校における人権教育の推進を図るために、継続して人権教育の研究等に取り組む。	

# 事務事業実績測定調査

10316030004	総合的教育力活性化事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2000 (H12) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子ども一人ひとりの「生きる力」が育まれるとともに、地域社会において児童・生徒の理解が進み、学校と連携して子どもの成長を支える意識が醸成された状態。				
事業概要	<p>19中学校区の各地域教育協議会が中心となって、子どもの様々な体験活動の機会や場を提供し、地域との交流を持つことで「子どもの生きる力」と「地域力」を育む。</p> <p>①子どもの課題を共有化する取組(広報紙の発行等)②大人のネットワークを拡大する取組(協議会の運営等)③子どもが参画する取組(フェスタ・祭りの開催等)④小学校入学前の子供と保護者の参加する取組(スポーツ大会等)⑤学校教育活動を支援する取組(職場体験学習協力等)⑥活動の安全を確保するための工夫(安全パトロール等)⑦その他(清掃活動等)の事業を委託する。</p>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	子どもの課題を地域に共有化した中学校区数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	校
目標(予測)	-	19	19	19		
実績	19					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.11	0.22
正職員数	0.10	0.01	0.22
非正規職員数(計)	0.00	0.10	0.00
再任用職員数	0.00	0.10	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	572	1,764
正職員人件費(換算額)	787	80	1,764
非正規職員人件費(計)	0	492	0
再任用職員人件費(換算額)	0	492	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	3,751	3,800	3,800
■事務事業の総計(千円)	4,538	4,372	5,564
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,538	4,372	5,564

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19中学校区の各地域教育協議会が中心となって、フェスタ・祭等の開催(15協議会計画)、安全パトロール(16協議会実施)、広報誌の発行、職場体験学習協力等の活動を通して、「地域の教育力の活性化」を図っていくことができた。</li> <li>・各地域教育協議会において、適切な計画のもとに、会議や催しを実施するため、年度始めに計画書、年度終わりに経過報告書、領収書の写し等の提出を求め、事業の適正化を図った。</li> <li>・会長会を1回開催、各地域の広報誌を市内小中学校にも配布し、各地域教育協議会同士の情報交流を行った。</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	令和2年度から委託料の支払い方法を前金払いから概算払いに変更した。また、令和2年度(2020年度)の前期会長会は、新型コロナウイルス感染症対策により開催できなかったが、制度の変更等について、書面等で各地域教育協議会に説明を行っている。	

# 事務事業実績測定調書

10316030005	多文化共生教育推進事業			
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育部教育支援推進室	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち		
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。		
	実行計画事業名	生徒指導充実事業		
総合計画体系②	基本目標			
	施策目標			
	取り組みの方向			
	実行計画事業名			

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1998(H10)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	在日外国人教育・国際理解教育について、理解がある小中学校				
事業概要	<p>学校園における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るため、枚方市多文化共生教育研究会を通して、研究事業(異文化交流講演会、学習会、機関紙発行等)を実施している。</p>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	国際理解教育に努めている学校数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	校
目標(予測)	-	64	64	64		
実績	64					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.10	0.07
正職員数	0.10	0.10	0.07
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	795	561
正職員人件費(換算額)	787	795	561
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	80	185	196
■事務事業の総計(千円)	867	980	757
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	867	980	757

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>本市立学校園における在日外国人教育・国際理解教育を通じて、講演会・学習会等、様々な研究を通しての推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究委員会(講演会・学習会)(年6回)</li> <li>・サマースクール(7月野外活動センターにて実施)</li> <li>・ひらかた多文化フェスティバル</li> <li>・北河内多言語進路ガイダンス(10月開催)</li> <li>・多文化冬の集い(2月実施)</li> <li>・研究推進活動(機関紙、集録発行)</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	本市立学校園における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るために、異文化理解のための学習会や授業研究に取り組む。また、全講演会・学習会に一人でも多く教職員が参加できるように日程や公務等を行う。	

# 事務事業実績測定調書

10316030006	学校医療費援助事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1958(S33)年度		～		
根拠法令等	学校保健安全法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	学校病の治療に要する費用を援助することにより、治療を受けることができた状態				
事業概要	市内在住要保護・準要保護の小中学校児童・生徒が、学校保健安全法の定める学校病にかかっていることが判明した場合、その治療に要する費用を援助する。対象者には学校で医療券を交付し、要保護者については医療費の全額、準要保護者については医療費の3割(保険者負担分を除いた額)を援助する。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	受診者1人あたりの援助金額 【援助金額/医療機関受診者数】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	円
目標(予測)	-	5,000	5,000	5,000		
実績	4,551					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.79	0.55	0.48
正職員数	0.16	0.15	0.13
非正規職員数(計)	0.63	0.40	0.35
再任用職員数	0.35	0.35	0.35
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.28	0.05	0.00
■人件費総額(千円)	3,318	3,013	2,826
正職員人件費(換算額)	1,260	1,193	1,042
非正規職員人件費(計)	2,058	1,820	1,784
再任用職員人件費(換算額)	1,555	1,723	1,784
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	503	97	0
■直接経費(千円)	9,128	7,937	6,500
■事務事業の総計(千円)	12,446	10,950	9,326
国庫支出金	1,816	0	1,338
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	27
一般財源	10,630	10,950	7,961

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	援助件数 小学校1,013件、中学校 415件 援助金額 小学校 4,694,606円、中学校 1,804,935円	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	学校保健安全法、同法施行令に基づき、医療費援助を行っていくものです。	

# 事務事業実績測定調書

10316030008	学校健康管理事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	子どもの健康増進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	学校保健安全法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	定期健康診断等で疾病の早期発見、感染症流行時の適切な対応ができる状態				
事業概要	<p>学校における健康診断等に当たるほか、学校保健安全計画の策定に参画し、またその実施が適切に行われるよう、校長をはじめとして養護教諭等に対し専門的立場から指導助言を与え、保健活動の効果的な実施を推進する。学校内科医、学校歯科医、学校眼科医、学校耳鼻科医、学校薬剤師、歯科衛生士による小学校45校、中学校19校で内科・歯科検診などの健康診断、健康相談・臨時健康相談・感染症流行時の指導、学校環境衛生の維持管理及びブラッシング指導を実施している。</p>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	感染症対応日数(感染症に罹患した登校者を把握後、学級閉鎖等の対応に要した日数)で過去3年の平均値					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	日
目標(予測)	-	331	331	331		
実績	235					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	290.04	290.03	289.97
正職員数	1.04	1.03	0.97
非正規職員数(計)	289.00	289.00	289.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	289.00	289.00	289.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	119,780	118,545	112,827
正職員人件費(換算額)	8,189	8,190	7,776
非正規職員人件費(計)	111,591	110,355	105,051
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	111,591	110,355	105,051
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	17,347	16,962	18,843
■事務事業の総計(千円)	137,127	135,507	131,670
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	137,127	135,507	131,670

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>令和元年度も下記の数の学校内科医、学校歯科医、学校眼科医、学校耳鼻科医、学校薬剤師、腎臓検診医、歯科衛生士による小学校45校、中学校19校で内科・歯科検診などの健康診断、健康相談、臨時健康相談、感染症流行時の指導、学校環境衛生の維持管理及びブラッシング指導を実施した。人数は実人数</p> <p>(1)学校内科医数 84人  (2)学校歯科医数 129人  (3)学校眼科医数 20人  (4)学校耳鼻科数 20人  (5)学校薬剤師数 30人  (6)歯科衛生士数 6人</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	法令等に基づき、学校保健活動の効果的な実施を推進していく。	

# 事務事業実績測定調査

10316030009	学校保健会支援事業(小中学校)		
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		～		
根拠法令等	学校保健安全法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	学校保健会の事業の円滑な実施について支援する。				
事業概要	<p>児童・生徒一人ひとりの健康・安全の保持増進を目指し、会員相互が連帯して学校保健が当面している諸問題について調査研究協議を進め、学校保健の推進と実践活動を行うために次の事業を行う。</p> <p>(1) 保健安全、衛生思想の普及啓発  (2) 学校保健の振興に必要な計画及び事業  (3) 学校保健に関する調査研究  (4) 学校保健関係者の交流及び研究活動の支援  (5) その他本会の目的達成に必要な事業</p>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	枚方市学校保健研究大会の参加者数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	-	100	100	100		
実績	112					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.49	0.48	0.44
正職員数	0.49	0.48	0.34
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.10
再任用職員数	0.00	0.00	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,858	3,816	3,236
正職員人件費(換算額)	3,858	3,816	2,726
非正規職員人件費(計)	0	0	510
再任用職員人件費(換算額)	0	0	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	521	593	525
■事務事業の総計(千円)	4,379	4,409	3,761
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,379	4,409	3,761

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>(1) 幼児・児童・生徒一人ひとりの健康・安全の保持増進を目指し、会員相互が連携して学校保健が当面している諸問題について調査研究を進めるために必要物品の購入を行った。</p> <p>(2) 枚方市保健会総会並びに講演会の実施支援、総会参加人数50人</p> <p>(3) 枚方市立学校保健研究大会の実施支援 研究大会参加人数112人</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も引き続き、学校保健会の目的達成に必要な事業の実施支援を行い、学校保健の推進を図っていく。	

# 事務事業実績測定調書

10316030010	健康診断事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	子どもの健康増進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	学校保健安全法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	小中学校において、健康診断を定期的に行い、児童・生徒の健康状態を把握、疾病の早期発見、必要な者には受診勧告等の事後指導を行い、健康が保持された状態				
事業概要	学校保健安全法に基づいて小中学校において児童・生徒等の健康診断を定期的実施し、健康状態の把握、疾病の早期発見、必要な者には受診勧告等の事後指導を行い、健康の保持増進に努める。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	定期健康診断の受診率(受診者数/対象者数×100)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	100	100	100		
実績	99.7					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	17.06	18.23	19.28
正職員数	1.91	1.89	1.76
非正規職員数(計)	15.15	16.34	17.52
再任用職員数	0.00	0.00	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	15.00	16.00	17.00
臨時職員数	0.15	0.34	0.42
■人件費総額(千円)	18,028	17,691	17,319
正職員人件費(換算額)	15,039	15,027	14,110
非正規職員人件費(計)	2,989	2,664	3,209
再任用職員人件費(換算額)	0	0	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	2,100	1,802	1,802
臨時職員人件費(実額)	889	862	897
■直接経費(千円)	23,646	22,745	23,507
■事務事業の総計(千円)	41,674	40,436	40,826
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	41,674	40,436	40,826

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	結核検診(全小中学校生)問診調査 31,167人、 尿検査(全小中学校生)実施人数 30,902人 心臓検診二次検診(小学校1年生、中学校1年生)受診者数 677人 脊柱側弯(モアレ)検診(小学校5年生、中学校1年生)受診者数 6,725人 総受診者数:31,167人(最大の結核検診の問診調査数) 総対象者数:31,259人	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も学校保健安全法に基づき、結核検診、尿検査及び心臓検診、耳鼻科検診、歯科検診。脊柱側弯(モアレ)検診を実施していく。	

# 事務事業実績測定調書

10316030011	就学時健康診断事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	子どもの健康増進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	学校保健安全法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	小学校就学予定者の健康の状況を把握し、保健上必要な助言を行うため、全就学予定者が受診した状態				
事業概要	<p>小学校へ就学する予定者に対して、あらかじめ健康診断を実施することにより、健康状況を把握し、保健上必要な助言・指導等を行うことを目的として次の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・翌年度、小学校就学予定者の保護者へ10月に就学時健康診断通知を送付。</li> <li>・実施期間中の指定日に就学予定校で学校医及び学校歯科医による検診並びに視力聴力検査を行い、就学予定者の健康の状況を把握し、保健上必要な助言を行う。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	就学時健康診断受診率(受診者数/対象者数×100)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	100	100	100		
実績	96					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	3.27	3.26	3.23
正職員数	1.65	1.64	1.41
非正規職員数(計)	1.62	1.62	1.82
再任用職員数	0.00	0.00	0.20
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	1.62	1.62	1.62
■人件費総額(千円)	16,331	16,398	15,776
正職員人件費(換算額)	12,992	13,040	11,304
非正規職員人件費(計)	3,339	3,358	4,472
再任用職員人件費(換算額)	0	0	1,020
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	3,339	3,358	3,452
■直接経費(千円)	6,941	7,259	7,623
■事務事業の総計(千円)	23,272	23,657	23,399
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	23,272	23,657	23,399

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	検査項目……内科検診、歯科検診、視力聴力検査 ・受診者数……3,184人 ・対象者数……3,305人 ・実施場所……市立小学校45校 ・実施対象者……翌年度、小学校1年生の就学予定者で、枚方市内に住所を有する者(外国人を含む)	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	法令を遵守し、健康診断を実施する。	

# 事務事業実績測定調査

10316040001	「心の教室相談員」配置事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	59.学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、いじめの未然防止や早期発見を図るとともに、不登校の子どもへの支援に取り組みます。	
	実行計画事業名	生徒指導充実事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2001(H13)年度		～		
根拠法令等	枚方市立教育文化センター条例第3条(4)				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	心の教室相談員が45小学校に週1回以上定期的に継続して相談に応じることができる状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内全小学校に、「心の教室相談員」を配置し、児童・保護者に対する教育相談及び教職員への助言を行う。</li> <li>相談員を、児童数に応じて、1校につき年間37回派遣する。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	児童1人あたりの相談件数 【相談件数/全小学校の児童数 20,801人 令和2年度(2020年度児童数)】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	-	0.62	0.62	0.62		
実績	0.72					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.20	0.27	0.32
正職員数	0.20	0.12	0.07
非正規職員数(計)	0.00	0.15	0.25
再任用職員数	0.00	0.15	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.25
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,575	1,692	1,161
正職員人件費(換算額)	1,575	954	561
非正規職員人件費(計)	0	738	600
再任用職員人件費(換算額)	0	738	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	600
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	7,025	6,987	8,285
■事務事業の総計(千円)	8,600	8,679	9,446
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	3,473	4,130
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	8,600	5,206	5,316

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>全45小学校に29人の相談員を配置し、児童・保護者・教職員からの相談に応じた。事案によっては、中学校配置のスクールカウンセラーと連携して、対応にあたった。令和元年度の全相談件数は、15,018件(平成30年度は12,866件。前年比+2,152件)</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>学校からの拡充の要望が高いため、相談員の資質向上のための方策にも取り組む。さらに、中学校に配置のスクールカウンセラーとの連携のみならず、スクールソーシャルワーカー等、他の専門家との連携を図っていくとともに、小中学校の生徒指導担当との連携も密にしていく。</p>	

# 事務事業実績測定調書

10316040002	スクールアドバイザー派遣事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	59.学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、いじめの未然防止や早期発見を図るとともに、不登校の子どもへの支援に取り組めます。	
	実行計画事業名	生徒指導充実事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2000(H12)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	緊急を要する課題について、専門的知見に基づく迅速かつ適切な対応がなされ、子ども等の心理的負担が軽減された状態。				
事業概要	(1)スクールアドバイザーの業務:事件、事故等緊急を要する事例に対しての派遣を行っている。 (2)スクールアドバイザーとして派遣する者:臨床心理士等の専門的な知識・経験を有する者の中から、児童生徒支援室が依頼した者				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	派遣要請に対応した割合【算出式:派遣回数/派遣要請回数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	100	100	100		
実績	100					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.14	0.30
正職員数	0.10	0.07	0.05
非正規職員数(計)	0.00	0.07	0.25
再任用職員数	0.00	0.07	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.25
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	902	1,001
正職員人件費(換算額)	787	557	401
非正規職員人件費(計)	0	345	600
再任用職員人件費(換算額)	0	345	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	600
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	285	956	213
■事務事業の総計(千円)	1,072	1,858	1,214
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,072	1,858	1,214

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	令和元年度は、小学校8校、中学校3校から要請派遣があり、21回アドバイザーを派遣し、教職員、児童・生徒、保護者の支援に当たった。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も緊急事案発生時には、速やかにスクールアドバイザーを派遣し、問題の解決につなげていく。	

# 事務事業実績測定調書

10316040003	スクールカウンセラー配置事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000200	学校教育部教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	59.学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、いじめの未然防止や早期発見を図るとともに、不登校の子どもへの支援に取り組みます。	
	実行計画事業名	生徒指導充実事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2001 (H13) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	配置回数の増加など相談体制が充実し、それぞれの内容に応じた相談を受けることができる状態。				
事業概要	<p>府事業のため、人員配置のみ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内中学校に府から派遣されたスクールカウンセラーを配置し、生徒、保護者及び教職員を対象とした教育相談を行う。</li> <li>生徒のカウンセリング等に関する情報収集、提供。</li> <li>構内研修等で教職員のカウンセリングマインド等を高めるための支援を行う。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	相談受付件数に対して対応した割合【算出式: 相談対応件数/相談受付件数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	100	100	100		
実績	100					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.21	0.31
正職員数	0.10	0.10	0.06
非正規職員数(計)	0.00	0.11	0.25
再任用職員数	0.00	0.01	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.10	0.25
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	1,084	1,081
正職員人件費(換算額)	787	795	481
非正規職員人件費(計)	0	289	600
再任用職員人件費(換算額)	0	49	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	240	600
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	787	1,084	1,081
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	787	1,084	1,081

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>府事業のため、人員配置のみ。</p> <p>全中学校に配置のスクールカウンセラーが、児童・生徒、保護者、教員からの相談を積極的に受けるなど、相談のあり方を工夫した結果、令和元年度の件数は5,796件であった(府への報告件数の計数方法が平成30年度と異なり、比較はしていない)。</p> <p>また、スクールカウンセラーは全小学校に配置の「心の相談員」とも連携し、中学校区全体の相談活動も実施している。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	生徒、保護者、教職員からのニーズは高く、現状維持を図る。また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による生徒の不安解消等のため、配置の増加を府に依頼している。	

# 事務事業実績測定調査

10316040004	スクールソーシャルワーカー活用事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	59.学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、いじめの未然防止や早期発見を図るとともに、不登校の子どもへの支援に取り組みます。	
	実行計画事業名	不登校等対策事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	それぞれの課題が解決され、児童・生徒が安心して安全に学校生活・家庭生活を送ることができる状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 配置または派遣する学校の教職員とのチーム体制によるケース対応</li> <li>(2) 教職員と連携した校内ケース会議のファシリテーションや福祉的手法のアドバイス</li> <li>(3) 小中合同ケース会議等、小・中学校教職員が協働した小・中学校間連携の推進</li> <li>(4) 学校と関係機関等との連携のコーディネート</li> <li>(5) 中学校派遣のスクールカウンセラーとの連携</li> <li>(6) 小中一貫教育を見据えた系統性・継続性のある生徒指導体制の構築</li> <li>(7) 枚方市教育委員会が開催する研修会、連絡会等への参加</li> <li>(8) スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーは、スクールソーシャルワーカーへの指導助言</li> <li>(9) その他、教育長が認める事項に関すること</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	相談受付件数に対して対応した割合【算出式: 相談対応件数/相談受付件数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	100	100	100		
実績	100					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.65	0.66	8.60
正職員数	0.65	0.56	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.10	8.50
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.10	8.50
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	5,118	8,307	7,241
正職員人件費(換算額)	5,118	4,453	802
非正規職員人件費(計)	0	3,854	6,439
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	3,854	6,439
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	11,298	6,793	318
■事務事業の総計(千円)	16,416	15,100	7,559
国庫支出金	3,766	3,413	2,052
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	12,650	11,687	5,507

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>令和元年度は、社会福祉士の資格を有する、より専門性の高いスクールソーシャルワーカーを7中学校区に配置した。同じく、社会福祉士の資格を有するスクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー1人が、7人のスクールソーシャルワーカーに対し、指導・助言を行った。</p> <p>年間6回のスクールソーシャルワーカー連絡会を行い、学校の課題について情報共有を行うとともに、支援の方向性について、スーパーバイザーからアドバイスを受けた。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	令和2年度は、子どもの育ち見守りセンターと協働で事務を進めている。令和3年度からは、子どもの育ち見守りセンターが管轄となる。	

# 事務事業実績測定調査

10316040006	教育相談事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	59.学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、いじめの未然防止や早期発見を図るとともに、不登校の子どもへの支援に取り組みます。	
	実行計画事業名	生徒指導充実事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1986(S61)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課題が解決し、安心して安全に学校生活を送ることができる状態。				
事業概要	<p>【子どもの笑顔を守るコール(いじめ専用ホットライン・教育安心ホットライン)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話による教育相談を行う。(平日 月～金午前9時から午後5時まで)</li> </ul> <p>【継続教育相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児・児童・生徒やその保護者等に対する面談による教育相談を行う。(要予約 月～金)</li> </ul> <p>【メンタルヘルス相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員に対するメンタルヘルス相談を行う。(要予約 月と金の午後)</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	第三者の視点を踏まえ、学校園に相談内容を適切に引き継いだ件数の割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	100	100	100		
実績	100					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	6.10	6.18	6.89
正職員数	1.10	0.98	1.39
非正規職員数(計)	5.00	5.20	5.50
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	5.00	5.20	5.50
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	15,371	14,816	18,714
正職員人件費(換算額)	8,661	7,792	11,144
非正規職員人件費(計)	6,710	7,024	7,570
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	6,710	7,024	7,570
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	2,206	1,651	2,699
■事務事業の総計(千円)	17,577	16,467	21,413
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	2,838	2,830
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	17,577	13,629	18,583

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話及び面談による教育相談、また、教職員のメンタルヘルス相談を行うことにより、それぞれが抱える教育課題や諸課題について適切に対応することができた。</p> <p>令和元年度 笑顔を守るコール 665件、 継続教育相談(継続的カウンセリング 1,392件・教職員メンタルヘルス相談15件) 件</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も継続して教育相談体制の充実を図るとともに、周知にも努め、学校園におけるいじめ問題等の未然防止、早期発見、早期解決に努める。	

# 事務事業実績測定調査

10316040007	適応指導教室事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	59.学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、いじめの未然防止や早期発見を図るとともに、不登校の子どもへの支援に取り組みます。	
	実行計画事業名	不登校等対策事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1995 (H07) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	不登校児童・生徒の心理的な負担が和らぎ、児童・生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立できた状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入室児童・生徒…学習活動・体験活動・創作活動等、児童・生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立するための指導・支援を行う。</li> <li>・訪問指導…学生指導員及び担当する指導主事が家庭訪問を行い、不登校児童生徒の主体的な活動への支援を行う。</li> <li>・馬とのふれあい体験…馬の世話を通して、不登校児童・生徒に対する支援を行う。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	ルポへの入室基準を満たし、登室を承認された児童・生徒が登室した割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	100	100	100		
実績	87.5					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	5.30	4.66	4.56
正職員数	0.30	0.56	0.56
非正規職員数(計)	5.00	4.10	4.00
再任用職員数	1.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	4.00	4.10	4.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	14,126	14,223	13,010
正職員人件費(換算額)	2,362	4,453	4,490
非正規職員人件費(計)	11,764	9,770	8,520
再任用職員人件費(換算額)	4,444	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	7,320	9,770	8,520
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	3,231	2,880	2,735
■事務事業の総計(千円)	17,357	17,103	15,745
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	17,357	17,103	15,745

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>主に、心理的要因で不登校状態にある児童・生徒に対し、教育文化センターに設置している適応指導教室で学習支援、グループ活動、カウンセリング、キャンプ、保育体験、福祉体験、馬とのふれあい体験などを通し、支援・指導を行った。</p> <p>取組を通して、少しずつ学校へ復帰する児童・生徒もいる。</p> <p>訪問指導を通して、生徒の状況に良い変化を見て取ることができた。</p> <p>令和元年度 適応指導教室「ルポ」児童・生徒数 40人。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府の加配教員であるルポ研究員と中学校配置のスクールカウンセラー、不登校支援協力員等との連携を深め、不登校児童・生徒の学校復帰を含めた自立に向け、一層の指導・支援の充実を図る。</li> <li>・見学や学校からの問い合わせの段階で、ルポへの入室基準を説明し、十分に理解をした上で申請してもらい、入室基準を満たしている児童・生徒が申請をし、ルポでの活動を通し、一人でも多く学校復帰ができるよう取り組む。</li> <li>・見学の前に学校と保護者の連携についても聞き取り、取組に対して指導助言する。</li> </ul>	

# 事務事業実績測定調査

10316040008	不登校児童・生徒支援事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	59.学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、いじめの未然防止や早期発見を図るとともに、不登校の子どもへの支援に取り組めます。	
	実行計画事業名	不登校等対策事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	不登校傾向にある児童・生徒に対し、要因や背景に応じた適切な支援を行い、不登校の未然防止が図られるとともに、不登校児童・生徒への支援指導により、社会的自立が進んだ状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枚方市不登校支援協力員連絡会を開催し情報交換を図る。</li> <li>・月1回中学校区ごとに小中学校間の情報交流を行う。</li> <li>・不登校児童・生徒の不登校の要因には不安や無気力が挙げられるが、その背景は個人によりそれぞれ異なっている。現在、すべての中学校と7小学校に不登校支援協力員を配置している。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	不登校児童・生徒の割合 【算出式: 不登校児童・生徒 / 全児童・生徒数 × 100】 ※小学校の目標、中学校の目標の順					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	(小)0.62、(中)4.0	(小)0.61、(中)4.0	(小)0.60、(中)4.0		
実績	(小)0.77、(中)4.54					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.30	0.42	0.77
正職員数	0.30	0.31	0.52
非正規職員数(計)	0.00	0.11	0.25
再任用職員数	0.00	0.01	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.10	0.25
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,362	2,754	4,769
正職員人件費(換算額)	2,362	2,465	4,169
非正規職員人件費(計)	0	289	600
再任用職員人件費(換算額)	0	49	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	240	600
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	10,285	9,483	12,178
■事務事業の総計(千円)	12,647	12,237	16,947
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	4,718	6,077
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	12,647	7,519	10,870

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>不登校の兆候が見えた生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めた。不登校生徒に対しては、不登校生徒に対しては、不登校支援協力員により、校内適応指導教室などを活用して、教育相談や学習支援を行った。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枚方市内小中学校に、不登校対策協力員を配置し、各校における教室以外の学校での居場所を確保する。</li> <li>・小学校から中学校への接続において、丁寧な引継ぎをするよう小中学校へ指導。</li> <li>・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、心の教室相談員など、不登校傾向にある児童・生徒にも適切な支援を行う。</li> </ul>	

# 事務事業実績測定調査

10316040010	いじめ問題対策事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	59.学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、いじめの未然防止や早期発見を図るとともに、不登校の子どもへの支援に取り組みます。	
	実行計画事業名	生徒指導充実事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		～		
根拠法令等	いじめ防止対策推進法 第14条3項及び第28条第1項、いじめ防止対策推進法(平成25年法律第71号)第1条				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安心できる学校園生活				
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 枚方市の関係部課と外部関係機関に属する者で構成される「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の定例会を年3回開催する。</li> <li>2. 枚方市学校いじめ対策審議会定例会を年2回開催する。また、必要に応じて臨時会を開催する。</li> <li>3. 幼児対象人形劇の実施(「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の取組の1つ)</li> <li>4. ひらかた学校支援チーム: 弁護士、心理・福祉の専門家、校長経験者等で構成する支援チームが学校園を巡回し、幼児・児童・生徒の様子や学校園の状況を確認、助言を行う。</li> <li>5. 「ストップ!いじめ」を枚方市立小・中学校の新入生の保護者を対象に、いじめ問題に対する啓発冊子として配付。</li> <li>6. 枚方市いじめ防止基本方針(概要版)の作成・配付。</li> </ol>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	認知したいじめに対する解消率 【解消件数/認知件数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	100	100	100		
実績	99.65					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.60	1.19	6.92
正職員数	2.10	0.99	1.56
非正規職員数(計)	0.50	0.20	5.36
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.50	0.20	5.36
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	17,735	9,167	14,484
正職員人件費(換算額)	16,535	7,871	12,507
非正規職員人件費(計)	1,200	1,296	1,977
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	1,200	1,296	1,977
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	4,215	3,637	1,472
■事務事業の総計(千円)	21,950	12,804	15,956
国庫支出金	201	283	460
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	21,749	12,521	15,496

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>本市で発生したいじめの重大事態を受け、「枚方市いじめ防止基本方針」の改定や「枚方市いじめ対応マニュアル」の作成等に取り組んだ。</p> <p>令和元年度におけるいじめの認知件数は、小学校で432件、中学校では143件であった。                      (文科省調査「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸課題に関する調査」による値。令和元年度は、現在文科省調査が集約中のため、府教育庁の「令和元年度小中学校におけるいじめの状況調査」による値)</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	<p>「枚方市いじめ防止基本方針」に基づき、引き続き、いじめの未然防止に取り組む。さらに、SOSのキャッチの仕方や対応方法等を記載した「枚方市いじめ対応マニュアル」に沿って、組織的かつ適切な対応に努める。また、スクールカウンセラー等を積極的に活用し、いじめを受けた児童・生徒及びその保護者の気持ちに寄り添い、いじめの早期解消に努める。</p>	

# 事務事業実績測定調書

10316050006	進路指導等事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000200	学校教育部教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	60.子どもたちの安全確保を図るため、学校・家庭・地域などが連携し、子どもが安全に安心して学べる環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2005 (H17) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	相談により、将来に展望を持つことができる				
事業概要	進学意欲を有しながら、経済的な理由により修学が困難な支援を要する生徒や保護者等に対して、家庭状況に見合った相談や個々の課題等に対応したサポートを行い、積極的に自己の進路を考え、将来に展望が持てるよう支援するため、進路選択支援事業を実施する。なお、事業は、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し、奨学金等に関する相談や情報提供を行う。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	相談者へのアンケートで相談内容に満足と回答した割合 キャリア教育を受講した中3の生徒数 3,417人/ 令和元年5月1日現在の生徒数 3,417人					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	100	100	100		
実績	100					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.30	0.30	0.72
正職員数	0.30	0.30	0.72
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,362	2,385	5,772
正職員人件費(換算額)	2,362	2,385	5,772
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,994	2,702	2,743
■事務事業の総計(千円)	4,356	5,087	8,515
国庫支出金	0	0	0
府支出金	689	684	723
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,667	4,403	7,792

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	生徒・保護者に対して、進路に関する適切な情報提供を行った。また、奨学金に関する説明会を6月7日に開催した。全中学校区において作成した「キャリア教育全体計画」に基づき、全校がキャリア教育を実施した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も生徒・保護者に対して、進路に関する適切な情報提供を行うとともに、職場体験学習などを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意欲などを培うキャリア教育を系統的に実施する。	

# 事務事業実績測定調書

10316070003	支援教育推進事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	62.障害のある子どもたちの状況に応じた支援教育の充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」教育の充実を図ります。	
	実行計画事業名	支援教育充実事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2005(H17)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	支援教育の充実が図られ、個々の状況に応じた支援を受けることができる状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、学校に専門家を派遣し指導・助言する。</li> <li>・教育支援推進室職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施する。</li> <li>・枚方市立小中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動時間を支援するために、非常勤講師を加配する。</li> <li>・肢体不自由児介助員を配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行う。</li> <li>・学校看護師を配置し、医療的ケアを必要とする児童及び生徒の枚方市立学校園における日常生活を支援する。</li> <li>・肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行う。</li> <li>・支援学級入級児童生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行う。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	支援が必要と認められた児童・生徒に対する支援教育に係る満足度 【算出式: 支援を必要とする児童・生徒数/支援をしている児童・生徒数】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	-	100	100	100		
実績	100					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	87.65	103.27	95.04
正職員数	3.75	3.22	3.28
非正規職員数(計)	83.90	100.05	91.76
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	7.00	5.00
非常勤職員数	74.50	85.00	79.28
臨時職員数	9.40	8.05	7.48
■人件費総額(千円)	148,316	187,617	170,546
正職員人件費(換算額)	29,528	25,602	26,296
非正規職員人件費(計)	118,788	162,015	144,250
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	28,245	20,780
非常勤職員人件費(実額)	92,890	110,670	101,301
臨時職員人件費(実額)	25,898	23,100	22,169
■直接経費(千円)	15,958	20,502	18,130
■事務事業の総計(千円)	164,274	208,119	188,676
国庫支出金	6,642	7,794	8,856
府支出金	6,998	5,976	5,794
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	150,634	194,349	174,026

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、4校の学校に1校当たり5回専門家を派遣し、指導・助言を行った。また、小中幼稚園、認定こども園に相談員を派遣し、教職員に対しての指導・助言を行い、また、保護者の相談にも応じた。</li> <li>・児童生徒支援室職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、認定子ども園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施した。</li> <li>・枚方市立小中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動時間を支援するために、非常勤講師を週平均10時間、全小中学校に配置した。</li> <li>・肢体不自由児介助員を小学校12校、中学校5校に21人配置し、児童・生徒の生活介助等を行った。</li> <li>・学校看護師を小学校13校、中学校2校に25人配置し、医療的ケアを実施した。また、非常勤職員を教育委員会に配置し、学校園の医療的ケアの業務応援や助言等を行った。</li> <li>・肢体不自由児童・生徒に対し、理学療法士による機能回復訓練を学期に1～2回実施した。</li> <li>・新たな種別の支援学級が設置された学校について、備品の購入補助を行った。</li> </ul>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	障害のある子どもに対して、社会的障壁を取り除くために行われる合理的配慮の観点を踏まえ、障害のある子どもの基礎的環境整備を整えていくとともに、本人・保護者の意向を受け止め、合意形成を図り、支援教育の充実を図っていく。	

# 事務事業実績測定調査

10316070004	通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000200	学校教育部教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	62.障害のある子どもたちの状況に応じた支援教育の充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」教育の充実を図ります。	
	実行計画事業名	支援教育充実事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1974(S49)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	通学タクシーを利用することによる出席日数が増加した状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枚方市立小中学校に在籍する肢体不自由児や腎炎・ネフローゼ児等通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。</li> <li>・枚方市内に在住する支援学校等に在籍する通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	タクシーチケットを使用したのべ日数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	日
目標(予測)	-	1,455	1,455	1,455		
実績	1,455					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.40	0.36	0.28
正職員数	0.40	0.36	0.28
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,150	2,862	2,245
正職員人件費(換算額)	3,150	2,862	2,245
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	2,637	3,308	2,437
■事務事業の総計(千円)	5,787	6,170	4,682
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,787	6,170	4,682

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	毎日利用の児童・生徒12名、雨天時利用の児童・生徒28名の通学費用(通学タクシー)に対して、支援金を交付した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、肢体不自由等児童・生徒等の通学に援助を行っていく。	

# 事務事業実績測定調書

10999990166	教育支援推進室運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000200	学校教育部教育支援推進室
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	本市教育の推進に向けて、教育支援推進室所管事務を円滑に執行する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市議会、教育委員会関係事務を執行する。</li> <li>教育支援推進室所管の予算・決算・会計・契約・文書管理等内部管理事務を執行する。</li> <li>教育支援推進室職員の服務・福利厚生に関する事務を執行する。</li> <li>教育支援推進室管理の公用車の運行・管理に関する事務を執行する。</li> <li>庁内外への照会・回答に係る事務処理を行う。</li> <li>学校園・保護者・地域からの相談に対して、教育支援推進室職員が対応する。</li> </ul>				

## 2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績						

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	4.51
正職員数	0.00	0.00	3.59
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.92
再任用職員数	0.00	0.00	0.30
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.62
■人件費総額(千円)	0	0	30,310
正職員人件費(換算額)	0	0	28,781
非正規職員人件費(計)	0	0	1,529
再任用職員人件費(換算額)	0	0	1,529
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	3,817
■事務事業の総計(千円)	0	0	34,127
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	352
一般財源	0	0	33,775

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	旧学務課、旧児童生徒支援室所管事務を円滑に執行した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	事務の執行と適正な管理・運営を行い、事務経費を適正に執行する。	